

学校名：筑後市立筑後中学校
 校長名：菖蒲 治
 所在地：福岡県筑後市水田1046-1
 電話番号：0942-52-4148

I 実践校の概要

1 学校・地域の特色及び実態

筑後市は福岡県南部にあり、水郷柳川や酒どころ瀬高・城島、遺跡の多い八女などの中間に位置している。九州自動車道八女インターや九州新幹線新船小屋駅などの交通アクセスもよく、船小屋温泉郷で有名である。

本校は、筑後市の南端、船小屋温泉郷を校区に含み、古くからの農業中心の3世代家族が多い地区にある。地域の相互関係は強く、地域・家庭の教育力も高い。

学校全体で「聴き方・聴く力」の育成に取り組んでおり、生徒は落ち着いている。学力面については基礎・基本の徹底により、全体的に学力は定着している。体力面については、県と比較して走力・跳力・投力ともに平均前後、やや劣る傾向がある。しかし、部活動に取り組む姿勢は真摯で、よく結果も出ている。

2 学校の概要（平成22年5月1日現在）

	1年	2年	3年	特別支援学級	計	
学級数	4	4	5	3	13	
生徒数	男	78	75	89	8	250
	女	62	75	73	5	215
	計	140	150	162	13	465

教員数 30名（保健体育科3名）

武道・ダンスの授業の状況

領域：武道

領域の内容：相撲

	1年	2年	3年	特別支援学級	計	
配当時間数	10	10	10	0	30	
担当教員数	1	1	1	0	3	
(外部指導者)	1	0	0	0	1	
生徒数	男	78	75	89	0	242
	女	0	0	0	0	0
	計	78	75	89	0	242

II 授業事例及び今後の展望等

【本事業の成果の要点】

初めて武道（相撲）を学習する生徒に対し、関心を高め、具体的な指導を行っていくために、外部指導者を活用した授業を行った。

単元の「導入」で武道の伝統や歴史・礼法についての講話やまわし巻きの練習、「展開」では、基本動作、受け身の練習や対人技能の練習、「まとめ」では、リーグ戦を行わせた。

「導入」「展開」で具体的に外部指導者からの指導を受けることにより、生徒の学習意欲を高め、真剣な学習ができた。結果として、怪我の防止、生徒による自主的な課題解決ができた。

対戦により、相撲の楽しさを感じさせることができたが、勝負にこだわり、活動内容が薄くなるがあった。安全に留意しつつ、全体での活動方法の工夫が課題にあげられる。

1 研究テーマ等

(1) 研究テーマ

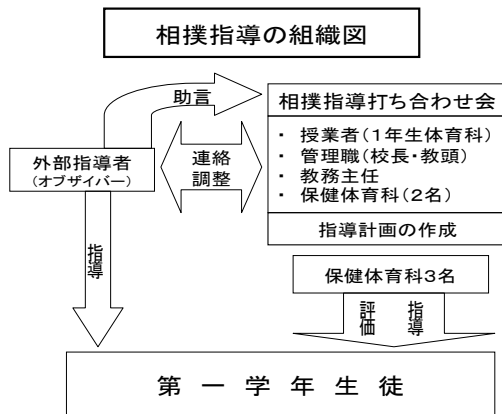
外部指導者と体育担当教員が連携した指導の在り方に関する研究

(2) 研究テーマ設定のねらい

本研究テーマは、外部指導者と保健体育科教員が連携することにより、平成24年度から全面実施となる学習指導要領への対応と、中学校体育教員の武道に対する指導力向上を図ることを目的としている。

専門性の高い外部指導者との連携を図ることにより、生徒に武道の伝統的な考え方を捉えさせ、仲間や相手の人格を尊重させ、礼儀正しい態度や振る舞いの必要性も感じさせたい。さらに、交流活動や相互活動を取り入れ、共感的人間関係や自己存在感を高めさせることを通して人権感覚を高めさせたい。

(3) 取組体制



(4) 本事業における主な取組

平成 22 年 度	1 平成22年4月 研究構想 単元構成 外部指導者との連携調整 授業準備及び指導案作成
	2 平成22年5月～6月 実証授業の実施 ・ 外部指導者による講話 ・ 基本動作の習得 ・ 受け身の習得 ・ 対人練習を通じて基本技の習得 ・ 簡易的な約束稽古 (試合) ・ リーグ戦
	3 平成22年7月～8月 研究のまとめ

2 授業事例

(1) 相撲

① 目的

- ア 我が国固有の文化である武道の伝統的な考え方を理解し、相手を尊重できる心を養う。
- イ 試合の勝敗にかかわらず、技能の習得などを通して礼法を身に付けるなど、人間としての望ましい自己形成を重視するといった考え方があることを理解できるようにする。

ウ 相撲の基本動作や基本となる技の学習を通じて、相手との攻防に楽しさや喜びを味わうことができる。

② 具体的な指導内容と方法

ア 外部指導者における講話

【相撲の歴史】

日本相撲の歴史は古く、「古事記」の中で、建御名方神 (たけみなかたのかみ) と建御雷神 (たけみかづちのかみ) が出雲の国をかけた力くらべをして、建御雷神が勝ったという記述が起源とされる。

また「日本書紀」によると第十一代垂仁 (すいにん) 天皇の御前で野見宿弥 (のみすくね) と当麻蹶速 (たいまのくえはや) が日本一を争ったと記されている。結果は野見宿弥の勝ちで肋骨を蹴り折り、さらに腰の骨を折って絶命させた。当時の相撲は正に命をかけた男の闘いであった。

【相撲の文化】

まわしは競技者の重心部となる腰や腹を固めて身を護り、転倒時の怪我の防止、身体の保護、また、「取組」で技を掛けるため相撲では欠かせない武具である。

塵浄水とは、昔、野原で相撲をとっていたときに、手を清めるために草をちぎってその露で清めて両手を広げて、何も武器を持っていないと示し、正々堂々と戦おうという意味がはじまりであった。

イ 講話で高まった興味・関心を実技技能へと継続

相撲は楽しく魅力あることを感じさせていくために、基礎練習の取り組みほど大きな声を出しながら授業の雰囲気づくりを大切にしたい。

ウ 基本動作 (礼法) の指導

蹲踞、塵浄水は相手と呼吸を合わせるのが難しい生徒がいるので、始めに動きの番号を決めて、その番号を言いながら全体で呼吸を合わせる練習を行った。

エ 基本動作の指導

腰割り、中腰の構え、四股、すり足、受け身は技能の向上や怪我防止に繋げるために最も重要な動作である。そのため、生徒に反復して行わせ、注意深く指導することで体に覚えさせた。

オ 対人動作

怪我の防止や基本動作向上のためにも約束稽古として、お互いがまわしを取り、組み合った状態から「押し」だけの対人動作の練習を行った。

相手の「押し」に対して自分のバランスを崩さずに体勢を整え、「押し」で対抗できるようになってきたら、「引き」「寄り」「投げ」の前後左右の動きに対応出来るよう約束稽古のルールを増やしていった。

カ 簡易試合

相手の真剣勝負に対する精神を尊重する気持ちが持てるよう呼びかけながら、礼法を踏まえて簡易試合を行った。

キ クラス対抗団体戦

真剣勝負に対する心構えと、勝敗に関わらず、互いが相手に対する敬意の気持を持てるよう態度を考えさせた。

③ 成果・課題

【成果】

ア 大相撲力士であった外部指導者からの講話を聞くことで、相撲に対しての興味、関心が高まった。

以下は、講話後に行ったアンケート結果の一部である。

A男：話を聞く前まではあまり興味が無かったけど、相撲は神様たちの命をかけた真剣勝負だったと知りました。今度、自分たちが教えてもらう前に、一度テレビで見ようと思います。

B男：塵浄水が、相手に対して正々堂々と戦うといった意味のある作法であることを初めて知りました。同時に、相撲はとっても相手に対して敬意をはらう美しいスポーツだと思いました。

C男：最初は相撲は、まわしを巻いて恥ずかしいスポーツだと思っていたけど、相手に対しても自分に対してもとても礼儀正しいスポーツだと感じました。

知識が乏しかったため、はじめは、興味が湧かなかった気持ちが大きかった。しかし、詳しく知ることによって生徒は武道(相撲)に関心を持つことが分かった。また、武道指導において重要な、相手に対して尊敬・敬意をはらう、礼儀正しさについても伝わったようである。

イ 講話を聞いて、相撲に対してより積極的に取り組めるようにするため、大相撲力士であった外部指導者に一人ずつ取り組みで挑戦させてもらった。



外部指導者に挑戦する様子

ここで武道の根源でもある純粋な「強さ」に触れることで、生徒たちはより一層相撲に関心を持てたように思えた。

ウ 基本動作では蹲踞や塵浄水等の礼法から指導を行い、それぞれの動作の意味を理解させることで、後の試合で勝ち負けに関わらず、双方とも清々しい気持ちで向き合えることに繋がった。

エ その後の基本動作においては、反復していくことで怪我の防止に繋げ、技能の習得がスムーズに行えた。

オ 対人動作では約束練習を行うことで、ぶつかり合いの恐怖心を取り除き、相手の動きに合わせて体勢を整える練習に集中できた。体勢を整えられるようになることで、技の習得が早くなり、より一層、攻防を楽しむことができた。

カ 簡易試合では相撲を楽しむことから、

勝負を楽しむことへと気持ちに変化していき、各人の勝負前の表情にその気持ちが表れ、心の成長がうかがえた。また、礼法の意味を理解し、最後まで相手に敬意を表す「礼」をすることで、お互いの気持ちを勝ち負けでなく真剣に試合ができた喜びの気持ちに変えることができた。

キ クラス対抗の団体戦を行うことで仲間からの期待や自己有用感を感じさせることができ、また、思いどおりにいかなくても武道の意義・真剣さを尊重する意味で仲間に暖かく声を掛けることができ、人権感覚の育成にも繋がった。

ク 相撲の単元後のアンケート調査

右段のアンケートで、81名中78名が「武道（相撲の授業）を楽しく行うことができた」と答えている。また、今後とも武道(相撲)を通して学んでいきたいという意欲ある意見もあり、専門的に指導していただいた外部指導者に対して感謝の気持ちがあるなど、実践後も継続して意欲・関心が残る授業になった。

21人

GTIによる相撲の授業後のアンケート調査表

()組()番 氏名()

1. 相撲の授業は楽しく行うことができましたか。

(はい)・いいえ)

2. 相撲で楽しいと思えた瞬間はどんなときでしたか。

すもうで相あったとき みんな大きな声を出して
みんな笑顔でいるとき 笑って帰るとき
みんなが応援してくれるとき
〇〇先生と、〇〇先生が楽しく教えてくれたとき
応援をしてもらうとき

3. 外部指導者による授業で、初めて知ったことや、勉強になった事を書きなさい。

〇〇先生は、いそがしいなかわざわざほめた為のために指導に来てくれるからとても楽しくて、いろいろ、2人の先生に教えてもらって、相撲のことがよく分かって、とても勉強になった。なかし先生は、最なかもこの歴史について、ななな分かんやまく、言ってくれたりして、ほめたちは、とても楽しかった。

4. 外部指導者による授業を行った、相撲をやる前とやった後では、相撲に対するイメージはどのように変わりましたか。

最初、相撲の授業をする、て聞いて、正直えーと思っ、た、でも、何回か相撲をしているうちに、た、た、た、人、楽しくなってきた。みんな、大きな声を出して応援してくれている人も、か、い、は、い、相手をぶしあたりする。みんな楽しんでいて、いた。みんな楽しそうだから、な、な、た、か、ほ、こ、愛、しくな、て、く、る。後からすもうは、とても楽しくな、て、よ、か、つ、た。また、授業を、し、た、い。

単元終了後のアンケート

【課題】

ア 今回は男子のみの授業であり、日常的にこのような経験が少ない女子で武道(相撲)を行う際は、別の工夫が必要にな

る。(導入での腕相撲の活用など)

イ 土俵が一つに対して生徒2人ずつのペースで試合を行うと、50分間の授業では技能上達のための時間が不足した。

ウ 専門性を十分持った外部指導者の活用はきわめて有効である。それだけに、外部指導者なしでの指導内容や指導方法の工夫・改善の方策をさぐる必要がある。

3 今後の展望

本事業の実践から、今後武道を必修単位として実践していくことで、他の領域以上に礼儀やマナーを学ぶ場として活用できることが分かった。しかし、それは専門性を持った外部指導者の授業への協力の成果であり、専門的な知識・技能を持たない教員が同じ成果を望むには、今後とも地域社会との連携を有効的に活用していく必要があると思われる。また、武道実践指導力向上のためにも、今後拠点校を中心とした定期的な研修会の開催を期待したい。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<ul style="list-style-type: none"> ○ オリエンテーション ・相撲の歴史・特性 ・礼儀作法・相撲用語 ○ 基本的な模範指導 ☆まわしの巻き方 ☆基本動作 ・蹲踞姿勢・塵浄水 ・四股 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本動作（1） ・蹲踞姿勢・塵浄水・中腰の構え ・腰割り・四股・伸脚・運び足 ・調体・仕切 ○ 基本動作（2） ☆2人1組の対人動作 ・仕切からの立ち合い ・組み方 ・受け身 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 立ち合いから対人技能（基本となる技） ・押し、押っつけ・引き・寄り ○ 基本となる技の習得 ・上手投げ ・下手投げ ・禁じ手 ○ 簡易試合 ・土俵内外における自由練習 ・班対抗団体戦 	<ul style="list-style-type: none"> ○ クラスマッチ ・クラス対抗団体戦 ・体重別個人戦 ・表彰、講評 ○ まとめ ・校内番付公表 ・課題の明確化 ・自己評価 						
時間	学習のねらい・活動								
	時	学習の具体的な評価規準							
		関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解				
はじめ 50 × 2	<ul style="list-style-type: none"> ○相撲の伝統や作法を理解する。 ○まわしの巻き方を学習する。 ○相撲の基本動作を習得する。 <p>1 オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相撲の歴史・特性 ・礼儀作法 ・相撲用語 <p>2 基本的な模範指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まわしの巻き方 ・基本動作（蹲踞姿勢・塵浄水等） 	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ①相撲の学習に進んで取り組もうとしている。 ○自ら進んで活動 [学習時の観察] <p>2</p>		<p>①相撲の学習のための基本的な技能を身に付けることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○手順が正しくできる。 	<p>①相撲の歴史、特性、まわしのつけ方、礼法等を言ったり書き出したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○具体的に言ったり書き出している。 [ノートの記事] 				
なか 50 × 3	<ul style="list-style-type: none"> ○相撲の特性や学習のねらい、計画、内容を理解する。 ○基本動作を習得し、2人1組の対人技能を身に付ける。 <p>1 基本動作（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蹲踞姿勢・塵浄水・中腰の構え ・腰割り・四股・伸脚・運び足 ・調体・仕切 <p>2 基本動作（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2人1組の対人動作 ・仕切からの立ち合い ・組み方、受け身 	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ②練習場所などの安全に留意しようとしている。 ○確かめようとしている。 [学習時の観察] <p>4</p> <p>5</p>	<p>①基礎・基本練習をもとに、技を身につけるポイントを見つけている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○確認している。 [ノートの記事] [学習時の観察] 	<p>②相撲の基本動作を身に付けることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○正確に [学習時の観察] ③体勢を崩されたときに受け身を用いることができる。 ○状況に応じて滑らかに [学習時の観察] 	<p>②相撲と関連して高まる体力を言ったり書き出している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○具体的に書き出している。 [ノートの記事] 				
なか 50 × 3	<ul style="list-style-type: none"> ○基本となる技を習得し、自分に合った得意技を磨く。 ○立ち合いからの対人技能を習得し、実際に簡易試合に取り組む。 <p>1 立ち合いから対人技能（基本となる技）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・押し、押っつけ ・引き、寄り <p>2 基本となる技の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上手投げ、下手投げ、禁じ手 <p>3 簡易試合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土俵内外における自由練習 ・班対抗団体戦 	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> ③学習内容以外の技をかけない等安全を意識して取り組もうとしている。 ○積極的に [学習時の観察] <p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> ④互いに練習相手をしたり、助言したりしようとしている。 ○積極的に ○率先して [学習時の観察] <p>8</p>	<p>②基本となる技を身につけるための練習の仕方を選んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観察した情報をもとに、練習方法を見直している。 [ノートの記事] [学習時の観察] 	<p>④基本となる技を習得し、自分なりに技を磨き、活用することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○滑らかに [学習時の観察] 	<p>③相撲の技の名称やそれぞれの技を身に付けるための技術的なポイントを言ったり書き出している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○具体的に言ったり書き出している。 [ノートの記事] 				
まとめ 50 × 2	<ul style="list-style-type: none"> ○学級対抗相撲大会で、自分なりの技を活用して、攻防を楽しむ。 ○課題の明確化を図り、自己評価を行う。 <p>1 クラス対抗団体戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体重別個人戦 ・表彰・講評 <p>2 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内番付公表 ・課題の明確化 ・自己評価 	<p>9</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤試合を通して、対戦結果や判定を受け入れ、相手を尊重しようとしている。 ○勝敗の結果にかかわらず [学習時の観察] <p>10</p>	<p>③試合を通して、自分の課題を選んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自己の課題に適した者を見つけている。 [ノートの記事] [学習時の観察] 	<p>⑤押したり寄ったりするなどの基本となる技を活用し、試合に活かすことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相手の動きに応じて攻防を展開することができる。 [学習時の観察] [試合の記録] 	<p>④試合や審判の仕方を言ったり書き出したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○具体的に言ったり書き出している。 [ノートの記事] 				

※「学習活動における評価規準」の欄にある「○」で示しているものは、十分満足と判断される状況